

2022 年度 兵庫県立播磨南高等学校 2 学期終業式式辞

2022 年 12 月 23 日

校長 吉田 尚美

～努力の目的化～

今日のテーマは「努力の目的化」です。まず、村上春樹の小説「ノルウェーの森」から話を始めましょう。

小説の中に登場する主人公の先輩「永沢さん」はこんなことを言います。

「だからね、ときどき俺は世間を見まわして本当にうんざりするんだ。どうしてこいつらは努力というものをしないんだろう、努力もせずに不平ばかり言うんだろうってね」僕はあきれて永沢さんの顔を眺めた。「僕の中から見れば世の中の人々はずいぶんあくせくと身を粉にして働いているような印象を受けるんですが、僕の見方は間違っているんでしょうか?」「あれは努力じゃなくてただの労働だ」と永沢さんは簡単に言った。「俺の言う努力というのはそういうのじゃない。努力というのはもっと主体的に目的的になされるものことだ。」

「努力というのは主体的に目的的になされるものことだ」といっています。人と同じように言われたことをやっているだけでは努力とは言えない。毎日授業を受けて、出された宿題をやって、部活の練習メニューをみんなと一緒にやってというのは努力とは言えないということです。例えば卒業したら家を出て一人暮らしをしたい、という目的があれば他府県の国公立大学に入れるように今から共通テストの勉強をはじめます。それが目的的になされる努力です。例えば将来韓国に行ってダンスをやりたいという目的があれば、韓国語の勉強をはじめます。バスケットボール部で県大会に出たいという目的があるなら、3 ポイントシュートを確実に入れる練習を重点的に努力するなどです。努力とは自分の目的に向かって自分の意志で行うものだと言っています。みなさんはそんな風に目的を持って勉強や部活動に取り組んでいますか?

その目的を持って行う「努力」が、1 年生の通知表で評価されている、新学習指導要領、観点別評価の 3 つめ「学びに向かう力」なのです。

誰にも一日は 24 時間しかありません。目的を持って努力しないと時間が足りません。学校新聞 12 月号のハリナニーにも同じテーマで書いたのですが、まだ読んでない人はぜひ読んでみてください。

みなさん一人ひとりにはそれぞれの違った才能があります。その才能を伸ばすために目的を持って努力してほしいと思います。人にやらされているのではなく、目的があって自分から努力することはやりがいがあって楽しいです。一生勉強です。少しずつ努力を積み重ねていってください。